



どうにかする力

泗水小学校だより
R5. 2. 28(火)
No. 48
校長 工藤竜一



泗水小学校
ホームページ

【校訓】 なかよく つよく しんけんに

【学校教育目標】 自立する泗水っ子の育成

～「生きる力＝どうにかする力」を育む教育活動を通して～

授業参観・学級懇談会へのご出席ありがとうございました！

2月24日（金）に、今年度最後の授業参観・学級懇談会を行いました。多くの保護者の皆さんにご出席いただき、誠にありがとうございました。雨天のため運動場への駐車ができませんでしたので、泗水体育館の駐車場が大変混雑し、ご迷惑をおかけしました。

今回の授業参観では、学年ごとに、これまでの学習の成果を発表する内容が多かったと思います。子どもたちの発表をあたたく見守っていただき、また、保護者の皆さんからご感想を返していただく場面もありました。ご協力いただき、ありがとうございました。

いよいよ明日から3月に入ります。卒業式、修了式まで1ヶ月を切りました。学校では、子どもたちの進級・進学に向けて、学習のまとめをしっかりと行っていきます。各ご家庭での励ましをよろしくお願いいたします。

なお、学級懇談会と同時進行で、校長室において、第5回学校運営協議会を行いました。まず、児童会の6年生が、「どうにかする力をつける児童会の取組」をプレゼンテーションで発表しました。初めての試みでしたが、委員の皆さんに大変喜んでいただきました。その後、学校から、学校評価アンケートや熊本県学力・学習状況調査の結果などを説明した後、委員の皆さんから、今年度の学校運営や子どもたちの様子を見られてのご意見をいただきました。ご意見は、次年度の学校経営に生かしていきたいと思っております。委員の皆様には、今年度も本校の学校運営にご協力をいただき、本当にありがとうございました。



1年：もうすぐ2年生 2年：明日へジャンプ 4年：2分の1成人式 6年：世界の中の日本 こすもす2の2の様子 学校運営協議会の様子

☆校長室から独り言45☆

子育ては親育て～失敗から学ぶ子育て…自分の人生を豊かにしてくれる子育て～

「子育ては親育て」と言われることがあります。子育てというと、一方的に「親が子どもを育てている」というイメージがあります。しかし、その反対もあるのではないのでしょうか。大人も、親になった瞬間から子どもに「親育て」されています。できないことがあるのは当たり前です。子どもができる立場上は「親」になります。しかし、肩書が変わったからといってすぐに何でもできるわけではありません。子どもが1歳なら親も1歳。子どもが1歳相応のことしかできないのと同じで、親も1歳相応のことしかできなくて当然なのです。

子育ては、学校で教わるわけではありません。祖父母と暮らしていなければ、身近で教えてくれる人もいません。だから、失敗することがあっても、わからないことがあっても何の不思議もないのです。子どもを見て、育児書を見て、調べて勉強して…。私は夫婦で学校の教師をしていますが、わが子の子育てほど難しいものはないと思います。わが子が生まれてから、育児書を何冊も読んだものです。失敗から学び、親同士のつながりの中で学び、学校や地域や関係機関の人に支えられ…そんな中で親子ともに成長していくのです。

歌人の俵万智は、歌集の中でこのように書いていました。

「子育てをしているとき、『自分の時間が欲しくありませんか?』『自己実現をしたいとは思いませんか?』とよく聞かれました。私はこう答えてきました。『私は仕事をしていて、それはやりがいのあることだけど、仕事にはいくらでも代わりをしてくれる人がいる。でも、子どもにとっての母親は、世界中で自分だけ。代わり的人がいらない。自分にしかできないという意味では、これこそすごい自己実現だと思うんです。』と。」

俵万智の歌集から一首。

夜泣きするおまえを抱けば私しかないんだよと月に言われる 俵万智

保護者の皆さんにはきっとわかる短歌だと思います。時には辛いと感じる子育てですが、親として、自分自身を成長させてくれる、そして人生を豊かにしてくれるのが子育てであると私は思います。